



一般社団法人 中部地質調査業協会
理事長 小島 央彦

巻頭言

平素は、一般社団法人中部地質調査業協会の事業活動に多大なご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。協会員一同、心より御礼申し上げます。

令和6年度は、元旦に発生した能登半島地震に対する迅速な震災対応が求められ、地質調査業界もその一翼を担いました。被災地では作業員の宿泊施設や通勤経路の確保に苦慮しつつ、迅速な復旧・復興に向けて地質技術者を派遣し、現地での調査活動を行いました。

4月からは、働き方改革の一環として建設業界にも時間外労働の上限規制が適用されました。これにより、原則として月45時間、年360時間までの時間外労働が制限され、特別な事情がある場合でも年720時間以内、単月100時間未満、複数月平均80時間以内という厳しい条件が課されました。この規制は、労働者の健康と安全を守るための重要な措置であり、業界全体での労働環境の更なる改善が期待されています。

8月には宮崎県日向灘を震源とする地震が発生し、制度運用開始以降、初めて南海トラフ地震臨時情報として、巨大地震注意情報が発表されました。こういった状況の中、近い将来発生する南海トラフ地震に対する備えを行いつつ、迅速な地質情報の提供に貢献できるように、より良い協会活動を継続してまいります。

新たな取り組みとして、10月に上部団体である一般社団法人全国地質調査業協会連合会(以下「全地連」)にて地質データの標準化に向けた取り組みを強化し「地質データ標準化検討小委員会」が設置されました。この委員会では、デジタル技術を活用した地質関連要領の改訂や、デジタルコアラボ(仮称)の検討を開始しました。また、「地質調査業務発注ガイド(令和6年度改訂版)」の作成や、「地質リスクマネジメント技術支援業務発注ガイド」の発行など、業界の品質向上に向けた取り組みも行われました。さらに、令和6年日向灘地震や能登半島地震(石川県)の災害復旧支援サイトの公開など、災害対応にも注力しました。



地質調査業務発注ガイド(令和6年度改訂版)
(https://www.zenchiren.or.jp/geocenter/guide/R06_guide.pdf): QRコード

これまでと同様に、全地連の活動と連携しながら地質調査業の社会的地位の向上を目指して活動していく所存です。

本機関誌「土と岩」73号は、特集タイトルを「地震災害から命を守る～発災前・発災直後・発災後～」として、地質調査業における震災に対する取り組み状況をご紹介します。中部地方整備局との意見交換会や中部ミニフォーラム2024での優秀論文賞の紹介など、その多岐にわたる内容は、協会内外の皆様にお目通しいただき、啓蒙活動の一助となることを期待しています。

本稿を執筆中の令和6年12月27日に、足立敏之参議院議員のご逝去の報に接し、深い悲しみとともに心よりお悔やみ申し上げます。足立先生は、インフラ整備や防災・減災、国土強靱化の推進に多大なご尽力をされ、私たち地質調査業界にとっても大変重要な存在でありました。先生のご尽力により、安全・安心な国土形成が進み、多くの国民が恩恵を受けました。ここに改めて敬意を表し、心よりご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族の皆様にも深くお悔やみ申し上げます。

結びになりますが、皆様が安全・安心に暮らせる国土形成のために、専門家集団として重要な役割を担い、これまで培ってきた技術を次の世代に承継してまいりますので、今後ともより一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

目次

01 ▶	巻頭言	1
02 ▶	特集 地震災害から命を守る	3
	～発災前・発災直後・発災後～	
	1) 自然災害の発生に備えて	4
	□神奈川大学 建築学部 建築学科 助教 落合 努	
	2) 能登半島におけるTEC-FORCE活動について	11
	□中部地方整備局 防災室 室長補佐 舟橋 優	
	3) 環境衛生における地震対策	20
	□東海国立大学機構名古屋大学減災連携研究センター 准教授, 博士(工学) 平山 修久	
03 ▶	特別寄稿	27
	沿岸潮位の変動から見た高潮	
	□東海大学海洋学部 海洋理工学科 准教授 高橋 大介	
04 ▶	令和6年度	38
	中部地区における地質調査業に関する意見交換会	
05 ▶	中部ミニフォーラム2024優秀論文	47
	1) 大規模盛土造成地業務の現地踏査におけるDX活用事例	
	□日本工営都市空間株式会社 林 択望	
	2) 安定処理土の供試体作製における混合方法についての研究	
	□中部土質試験協同組合 ○大橋 翔 久保 裕一 池田 謙信 法安 章二	
06 ▶	令和6年度 現場研修会	53
	1) □東邦地水株式会社 技術本部名古屋技術部 吉見 廉	
	2) □日特建設株式会社 藤代 祥子(中部Geoラバース所属※)	
	※(一社)中部地質調査業協会 研修委員会	
	女性活躍推進ワーキンググループ	
07 ▶	散文 日本最古の石博物館と美濃帯の中・古生層	58
	□名古屋大学名誉教授 足立 守	
08 ▶	常設委員会報告	80
	・総務委員会 ・研修委員会 ・女性活躍推進ワーキング活動	
	・広報委員会 ・技術委員会 ・防災委員会	
	・編集委員会 ・ホームページワーキング活動報告	
09 ▶	県支部活動報告	92
	・愛知県 ・岐阜県 ・三重県 ・静岡県	
10 ▶	読者アンケート結果・読者アンケート	96
11 ▶	会員名簿	98
12 ▶	会員広告	100
13 ▶	編集後記	108